

秋 穰子

(あき・みのりこ) ひねりこじゃねえってんだろダラズ!!

能力：『豊穰を司る程度の能力』

所属：フリー(第15回大会~)([秋姉妹](#)として活動するも、特定の軍団には所属していないため、フリー扱い)

ファイトスタイル

東ブローのバックドロップ職人・神

姉[静葉](#)とは対照的に、大胆な技構成で試合を展開する。

当人の強いやる気を感じられる技の一つ一つはそれでいて丁寧で

見ていてとても清しいが、甘く見ていると冷たい一撃を打ち込まれる

秋風のようなファイトスタイルの持ち主である。

特筆すべきは、様々なパターンを使いこなし、自らのフィニッシュムーブにまで

磨き上げたバックドロップで、「東ブローのバックドロップ職人(神)」の異名を持つ。

豊穰の象徴とも言えるこの技を見て「ありがてえ...ありがてえ...！」と手を合わせ拝む熱心な信仰者も増えている模様。

最近ではドロップキック系の技も評価されつつあり、往年のプラタにはますます見所のある選手となっている。

『おーたむ！おーたむ！』

技ではないが、特徴的なムーブのため掲載する。

第37回大会で勝利後にリングの上からファンに公表した、暑すぎず寒すぎない気持ちの良い秋を表現したポーズ。

3、2、1とカウントダウンした後、会場のファンと共に、おーたむ！おーたむ！と2回繰り返す。

元ネタはハッスル参戦時代の小川直也選手が使い、一世を風靡したハッスルポーズ。

捻り式バックドロップ

通常のバックドロップと違い、相手を横抱きに近い形で抱え、捻りながら落とす方式。

相手は横向きになった状態でマットに落下するため、受け身が取りづらい。

マサ斎藤(現・健介オフィスアドバイザー)が得意としていた技で、

海外では「サイトー・スープレックス」として知られている。

(雪崩式)殺神バックドロップ

垂直落下式バックドロップ。通常は自ら反り返ることで弧を描くように投げ落とすのがバックドロップなのだが、このバックドロップはあまり反り返らず、そのまま真下に投げ落とすため、相手は頭からマットに叩きつけられるという危険な技である。その危険さゆえか、夏フェス以来封印されているが、依然として

「穰子に背中を見せることは死を意味する」と言われるゆえんとなっている。

トップロープからのそれは一撃で相手を葬る威力。神の業。

なお、技名は穰子が神なのでこうなっているのだが、場合によっては掛けられる相手によって

「殺人バックドロップ」、「殺兔バックドロップ」等と変わることもある。

オリジナルはスティーブ・ウィリアムスの殺人バックドロップ(デンジャラス・バックドロップ)。

'93年、対小橋戦(三冠挑戦者決定戦)で強烈なインパクトを与え、実況を担当した佐藤啓アナ(中京テレビ)は三度「バックドロップドライバー！」と繰り返し、その切れ味を表現した。

キャプチュード

変形フロント・スープレックス。バックドロップ神と呼ばれる穰子が今日までに公開している唯一のスープレックスホールド。片腕で相手の首、もう片腕で相手の片足を内側からロック。そのまま『後方に捻り投げる』ことから身につけた模様。

意外かもしれないが、東プロでこの技を初披露したのは穰子当人ではなく、デビュー戦時の相手[レティ・ホワイトロック](#)であった。

この一戦に敗れた[秋姉妹](#)ではあったが、試合後に穰子が頼み込み[レティ](#)から継承したとも言われている。オリジナルは前田日明の『キャプチュード』。この命名前は『アキラスペシャル』と呼ばれており当選手の代名詞とも言われる重要な技だった。

各種ドロップキック・ミサイルキック

ドロップキックは相手の顔面を蹴った反動で後方旋回してうつ伏せに着地するタイプを使用する、フライングメイヤーからの低空ドロップキック等もある。

スワンダイブ式ミサイルキックはリング内・場外問わずに相手へ飛んでいく、場外へのスワンダイブ式ミサイルキックはあまりの落差に観客から驚愕の声が上がる程。

稲田青果詰め合わせ固め

スモールパッケージホールド。アメリカではインサイド・クレイドルと呼ばれる技。

片手で相手の頭部を脇に抱え、もう片手で相手の片足、そして片足で残った相手の足を固めて、横方向（相手から見て前方）に転がりながら丸め込む。

フィニッシュとしてより、相手の攻めを継続させない使い方としての意味合いが強い。

NEXTトーナメントのメルラン戦では、大技に移行しようとしたメルランをこの技で巧くいなして攻守逆転を成功させた。

その他使用技

監獄固め、ロメロスペシャル(ファンの間では「葡萄棚」と呼ばれる)、アキクラッチ ([静葉](#)と同じ技)、捻り式ベリートゥベリーなど。

U3でありながら、技の1つ1つはオールドタイプのもが多く、派手さはないがいぶし銀であり、往年のプロタには嬉しい選手である。

戦績

[[部分編集](#)]

+ 全戦績 -ネタバレを含むので注意-

タイトル歴

なし。

人間関係

- ▶ [秋 静葉](#)(姉、リング上では[秋姉妹](#)、本業は[稲田青果](#))
- ▶ [チルノ](#)(秋vs冬の紛争が水面下で起きている)
- ▶ [レティ](#)(同じく、秋冬戦争下の天敵)
- ▶ [八坂神奈子](#)、[洩矢諏訪子](#)(神様繋がりですタグ結成経験有)

[てみ](#)(2回も反則誤審誘導を仕掛けられており、遺恨がある模様)

- ▶ [文](#)(名前ネタでさんざんいじられる)

入場曲

稲田姫様に叱られるから

評

初参戦は第15回大会に[秋姉妹](#)としてが公式記録だが、それより前に[霊夢](#)とのスパーリングが公開されていた事があった。
(第15大会第2試合のsaki氏のコメントより)

[U3級](#)ながら[無差別級](#)との手合わせを強く求めており姉[静葉](#)とは違い積極的にリングに上がりたがっている模様。

その事から[秋姉妹](#)以外の助っ人として他ユニットに混ざり試合経験を増やしている。

初期の待遇からも東プロに強い愛着があるようで、第30回大会の勝利をもっていよいよ[LU3T](#)への挑戦を表明。これが王者組に受理される。季節も秋に向かう頃であり、体調が万全ならば良試合を展開する事が期待されるとして前評判も高く、実際に初公開となった必殺の「雪崩式殺神バックドロップ」を披露するも、まだまだ残暑厳しき折だったせいかわ王者組には惜しくも敗れるが、ファンの間では高評価を得ることになった。

本業は[稲田青果](#)。登記上は代表なのだが仕事は几帳面にこなす姉[静葉](#)に任せがち。プロレスがしたいという気持ちと、営業のために今日も[穰子](#)は積極的に試合権を求めている。

ファンからは『名前の読み方が分からない』や『確か『子』だったと本来の字とは違う名前と呼ばれてしまう事が多く自身の名前の認知度アップのためにも[どこかの門番](#)よろしく試合で積極的な姿勢を見せなければならないと思っているのかもしれない。

また、余談ながら、[てみ](#)&[パチュリー](#)の反則誤審誘引に2回も引っかけた被害者であり、遺恨がある模様。

- + 秋の乱、そして冬へ... 第33回大会～第36回大会
- + 冬から春へ、しかし確変する神 第37回大会～

なお、東プロWiki管理チームでは [AkiTube](#) を毎日チェックしています。

[このページを編集](#)